



TITLE:

稀少種ヌメリテンジクダイ  
Pseudamia gelatinosa (テンジクダイ科)未成魚の和歌山県白浜町の海岸への漂着

AUTHOR(S):

林, 公義; 久保田, 信; 田名瀬, 英朋; 中坊, 徹次

---

CITATION:

林, 公義 ...[et al]. 稀少種ヌメリテンジクダイPseudamia gelatinosa (テンジクダイ科)未成魚の和歌山県白浜町の海岸への漂着. 南紀生物 2009, 51(2): 56-57

ISSUE DATE:

2009-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188326>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

## 稀少種ヌメリテンジクダイ *Pseudamia gelatinosa* (テンジクダイ科) 未成魚の和歌山県白浜町の海岸への漂着

林 公義\*・久保田 信\*\*・田名瀬英朋\*\*\*・中坊 徹次\*\*\*\*

Masayoshi HAYASHI, Shin KUBOTA, Hidetomo TANASE and Tetsuji NAKABO:

A rare subadult cardinal fish, *Pseudamia gelatinosa* (Apogonidae),  
stranded at Shirahama, Wakayama, Japan

和歌山県西牟婁郡白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所周辺の海岸において、冬季に南方系の稀少魚種の幼魚が稀に漂着することがあり、最近では、オナガウツボ *Evenchelys macrurus* (ウツボ科)、クマドリ *Balistapus undulatus* (モンガラカワハギ科)、クロハコフグ *Ostracion meleagris meleagris* (ハコフグ科) などが報告されている (田名瀬・久保田, 2002, 2004; 久保田ほか, 2003; 久保田, 2006, 2008)。今回、初めてヌメリテンジクダイ *Pseudamia gelatinosa* が打ち上がったので報告する。

ヌメリテンジクダイは、日中は主に岩礁の岩穴の奥に潜み、夜間に活動が活発であるために稀にしか採集されないテンジクダイ科の一種である (IDA & MOYER, 1974; 益田・小林, 1999)。本種はこれまで和歌山県白浜町周辺海域から1978年に2個体が採集された記録しかない (林, 1979)。本種は相模湾からの採集記録もあるが、主

たる分布域は奄美大島以南で、暖海域のサンゴ礁に生息している (林, 2000)。

今回発見されたのは、本種の亜成魚1個体で、2009年2月5日の午後に京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”の波打ち際に漂着したものを採集した。漂着時、本個体の眼は新鮮で腐臭もなく、死亡したばかりの状態であると推察された。

発見直後にホルマリン海水で固定し (図1)、体各部の測定は固定後16日目に行った。本種の成魚の全長は最大で650 mmに達する (RANDALL *et al.*, 1985) ことから、体長30.4 mm、全長37.3 mm、体高6.6 mmの本個体の計測値からは亜成魚と判断される。本個体の体側には特別にカラフルな色彩はみられず、体全体には小さい放射状の黒斑点が多数散在し、これらの黒斑は5-6条の縦列をなしていた。尾鰭を除く体各部の鰭は透明だが、尾は透

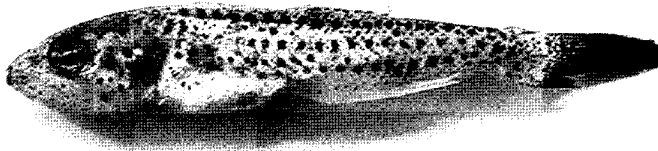


図1 京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”へ漂着したヌメリテンジクダイ *Pseudamia gelatinosa* の亜成魚 (ホルマリン海水に固定後、16日目に撮影)

\* 〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台95番地 横須賀市自然・人文博物館

\*\* 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所

\*\*\* 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町676

\*\*\*\* 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館

明感のある黒色で、上縁付近に黒色の1小楕円斑がある。尾鰭のこの楕円斑は、ヌメリテンジクダイ属の中で本種を識別する有効な特徴である。

本標本は、京都大学総合博物館の魚類資料として登録保管（標本番号 FAKU96628）された。

#### 引用文献

- 林 公義. 1979: 横須賀市博物館所蔵魚類資料目録 (1) (APOGONIDAE・テンジクダイ科). 横須賀市博物館資料, (4), 1-16.
- . 2000: テンジクダイ科. pp. 750-779, 1551-1553 in 中坊徹次編著. 日本産魚類の検索 全種の同定, 第二版. 東海大学出版会, 東京.
- IDA H. and J. T. MOYER. 1974: Apogonid fishes of Miyake-Jima and Ishigaki-Jima, Japan. *Jpn. J. Ichthyology*, **21** (3), 113-128.
- 久保田 信. 2006: 宝の海から 白浜で出会った生き物たち. 233pp., 紀伊民報, 田辺市.
- . 2008: 和歌山県白浜町“北浜”へ2007年11月に打ち上がった稀少種クロハコフグ (ハコフグ科). 漂着物学会誌, **6**, 20.
- 久保田 信・樫山嘉郎・田名瀬英朋. 2003: 番所崎, 特に“北浜” (和歌山県白浜町) へ打ち上げられた魚類. *くろしお*, (22), 31-33.
- 益田 一・小林安雅. 1999: 日本産魚類生態大図鑑, 第1版第4刷. 465 pp. 東海大学出版会, 東京.
- RANDALL, J. E., E. A. LACHNER, and T. E. FRASER. 1985: A revision of the Indo-Pacific apogonid fish genus *Pseudodania*, with descriptions of three new species. *Indo-Pacific Fishes*, (6), 1-23.
- 田名瀬英朋・久保田 信. 2002: 和歌山県田辺湾から採集された稀種クロハコフグ (ハコフグ科, 魚類). *南紀生物*, **44** (2), 149-150.
- . 2004: 和歌山県田辺湾から採集されたクマドリ (魚類, モンガラカワハギ科). *南紀生物*, **46** (1), 65-66.